

●大野城市芸術文化振興プラン実施スケジュール（案）

【資料1】

| 方向性・テーマ        | 基本施策                            | 実行プラン                        | 重点的に実施する取組                                             | R1（9月～）                  | R2                           | R3                                                                 | R4                                              | R5                                   | R6                                                             | R7                                                            | R8                                                | R9                   | R10     |
|----------------|---------------------------------|------------------------------|--------------------------------------------------------|--------------------------|------------------------------|--------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------|--------------------------------------|----------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------|----------------------|---------|
| 中間年度見直し・次期計画策定 |                                 |                              |                                                        |                          |                              |                                                                    | アンケート作成                                         | アンケート配布・回収<br>内容検討<br>最終調整           |                                                                |                                                               | ●次期プランの方針の検討                                      | 次期プラン検討<br>市民アンケート実施 | 次期プラン策定 |
| （情報・知ろう）       | (1) 芸術文化活動の情報発信体制の充実            | ① 芸術文化活動情報発信の基盤整備            | ・芸術文化情報サイトの構築及び周知                                      | サイトイメージに関する情報収集          |                              | サイトの基本機能整理                                                         | 仕様書作成(機能詳細整理)<br>管理・運用の検討                       | サイト構築<br>周知・勧奨                       | 対象に合わせた周知<br>サイトを絡めた事業の検討                                      | 対象者（世代、登録対象者等）に合わせた周知方法の検討・実施                                 | ●対象者（世代、登録対象者等）に合わせた周知方法の実施                       |                      |         |
|                |                                 | ② 芸術文化に関する情報内容の充実            | ・情報をより多くの市民に伝えるためのプッシュ型情報発信方法の検討及び実施                   | —                        | 広報紙配架場所調査方法の検討               | まどかびあとの協議                                                          | 情報の森整備協力                                        | 情報発信方法の確認、検討<br>プランに関する市ホームページの作成、公開 | プッシュ型情報発信方法（インスタグラム）の開設                                        | プッシュ型情報発信（インスタグラム）方法の活用検討・実施                                  | ●インスタグラムを用いた情報発信                                  |                      |         |
|                | (2) 芸術文化がもたらす魅力を伝える活動の推進        | ① 芸術文化の魅力を伝える機会の創出           | ・芸術文化の多様な魅力を伝える機会の創出                                   | —                        | —                            | 【SNSや動画投稿サイトの活用】<br>実施及び検証                                         | 【SNSや動画投稿サイトの活用】<br>まどかフェスティバルでのオンライン配信実施       | サイトとSNS・動画投稿サイトの連携の検討                | インスタグラムを用いた効果的な情報発信の検討・実施                                      | Instagram機能を用いた魅力的な情報発信の実施<br>●多様な方法での実施事業の取組の紹介（アプローチ方法の多様化） |                                                   |                      |         |
|                |                                 | ② 芸術文化レポーター制度の構築             | ・芸術文化レポーター制度の構築                                        |                          |                              | 【市民と芸術家との交流機会の創出】<br>ヒアリング・情報収集準備（一部情報収集）                          | 【市民と芸術家との交流機会の創出】<br>ヒアリング対象・方法等の検討、実施<br>支援の検討 | 市民レポーター制度の検討<br>（アートマネジメント研究）        | ＜レポーター制度＞<br>共同研究及び制度の構築<br>制度の在り方、座組の検討                       | ツナグトレポーター制度の実施                                                | ●市民レポーター制度の運用<br>●「こどもレポーター体験」の実施                 |                      |         |
| （参加）           | (1) 芸術文化に興味を持ち、誰もが体験・鑑賞できる環境づくり | ① 誰もが体験・鑑賞できる環境づくり           | ・芸術文化活動の入口を作るための環境整備及び考え方の普及                           | 芸術文化に対するアクセシビリティの調査研究の協議 | 芸術文化に対するアクセシビリティの調査研究の協議及び実施 | 芸術文化に対するアクセシビリティの調査研究の実施<br>ハンドブック作成、活用方法検討                        | ハンドブック周知                                        | ハンドブック周知（芸術文化体験イベントの実施）              | 大野城市まちづくり出前講座へのメニュー化<br>プラン周知                                  | 身近な芸術文化活動を知ってもらう機会の創出<br>「芸術文化ワークショップ体験講座」実施                  | ●市民レポーター制度の運用<br>●「ツナグ」の運用                        |                      |         |
|                |                                 | ② 誰もが体験・鑑賞できる機会の創出           | ・市や大野城まどかびあによる地域（各コミュニティセンターや公民館、学校等）での芸術文化イベントの実施及び支援 | —                        | —                            | まどかびあにおいて劇場体験プログラム等実施<br>情報収集、情報公開                                 | ヒアリング対象・方法等の検討、実施<br>支援の検討                      | 身近な場所での芸術文化体験イベントの実施                 | コミでのWS実施<br>WSでの取組周知                                           | ●市民向けワークショップ実施                                                |                                                   | まどかびあで引き続き実施         |         |
| （育成・養成）        | (1) 芸術文化の創造・継承活動への多面的な支援        | ① 若い世代の芸術文化活動の担い手の育成         | ・多様なジャンルを体験できる機会の提供                                    | —                        | —                            | ヒアリング・情報収集準備（一部情報収集）                                               | ヒアリング対象・方法等の検討、実施<br>支援の検討                      | 多様なジャンルの体験ができるイベントの検討                | 文化連盟への協力（多様なジャンルに触れる機会の創出）<br>学校・ランドセルクラブへのアプローチ               | ●多様なジャンルに触れる機会の創出                                             | ●各種大会等参加費補助金                                      |                      |         |
|                |                                 | ② 芸術文化活動の企画・運営者（団体含む）への支援    | ・芸術文化情報サイトでの各団体のPR及び支援情報の一元化                           | 文化連盟等の文化団体への支援           |                              | 【文化連盟への支援】<br>文化連盟団体紹介ページの充実化<br>【支援方法の検討】<br>ヒアリング・情報収集準備（一部情報収集） | 【支援方法の検討】<br>ヒアリング対象・方法等の検討、実施<br>支援の検討         | 支援方法の検討                              | サイトの周知                                                         | ●アーティスト、活動団体向け支援情報の収集、周知                                      |                                                   |                      |         |
|                |                                 | ・ファシリテーター養成講座の実施             |                                                        |                          |                              |                                                                    |                                                 |                                      | ＜ファシリテーター研修＞<br>共同研究及び制度の構築<br>制度の在り方、座組の検討                    | アーティストの活動に関するフォローアップ機会の提供                                     | ●市民向けワークショップの実施                                   |                      |         |
|                | (2) 芸術文化を活かす担い手と受け手をつなぐ機能の充実    | ① 芸術文化活動を支える人材の育成            | ・芸術文化が社会とつながるための仕組みづくり（アートマネジメント研究等）                   | —                        | —                            | —                                                                  | 人材育成の対象の明確化・研修の検討                               | ファシリテーター研修・レポーター研修（アートマネジメント研究）      | アートマネジメント研究（ファシリテーター研修・レポーター研修）                                | レポーター養成講座やアーティストの活動に関するフォローアップの取組の実施                          | ●レポーター養成講座の実施及びレポーター制度の運用                         |                      |         |
|                |                                 | ② 芸術文化活動の担い手と受け手をつなぐ機能の充実    | ・（仮称）よろず相談所のあり方の整理及び仕組みづくり                             | —                        | —                            | —                                                                  | 芸術文化情報発信サイトの整備<br>※サイト内の情報、機能が相談機能を補う。          | サイトでの相談機能のあり方の検討                     | サイトを中心とした担い手と受け手をつなぐネットワークの構築<br>サイト登録アーティストと市内の活動団体をつなぐ仕組みづくり | ●「福岡県アーツカウンシル（仮称）」の把握、連携の模索                                   | 文化芸術活動を支援する「福岡県アールカウンシル（仮称）」を2027年4月にアクロス福岡が設立予定。 |                      |         |
|                |                                 |                              |                                                        |                          |                              |                                                                    |                                                 |                                      |                                                                |                                                               |                                                   |                      |         |
| （連携・融合）        | (1) 団体や芸術分野を超えた交流の促進            | ① 芸術分野がつながる活動の推進             | ・芸術文化情報サイトを軸とした活動団体や芸術分野を超えた交流会の実施                     | —                        | —                            | —                                                                  | サイトを軸とした交流会の検討                                  | サイトを軸とした交流会の検討                       | サイトを介した交流会の場の検討                                                | サイトを介した交流会の検討・実施                                              | ●サイトを介した交流会（「ツナグ交流会」）の実施                          |                      |         |
|                |                                 | ② 芸術文化活動を通じて全ての人が地域と関わる機会の充実 | ・芸術文化活動を通じた社会参加の機会を生み出すための取組の実施                        | —                        | —                            | ヒアリング・情報収集準備（一部情報収集）                                               | 他分野のイベントでの芸術体験ワークショップの実施                        | 他分野で芸術文化を取り入れた取り組みの情報収集              | 取組の可視化、周知                                                      | ●芸術文化を通じた社会参加の機会を生み出すための取組の実施                                 | ●アートギャラリーの設置運営                                    |                      |         |
|                | (2) 芸術文化を通じた「社会参加」の機会を広げる環境づくり  | ① 芸術文化の他分野への活用               | ・部門間連携会議のプラン進捗に沿ったより良いあり方の整理及び実施                       | 連携会議の設置・実施               |                              | 【各分野におけるワークショップの開催】<br>アクセシビリティの調査研究における先進事例の調査及び本市での実施方法の検討       | 【各分野におけるワークショップの開催】<br>未実施                      | 連携会議の実施                              | 連携会議の在り方の検討                                                    | ●職員向け研修の実施（連携会議委員含む）                                          |                                                   |                      |         |
|                |                                 |                              | ・福祉、教育、商工業等、他分野で芸術文化を活用してもらうための取組の実施                   |                          |                              |                                                                    |                                                 |                                      | 分野別のアプローチ方法の検討<br>他分野への周知                                      | 他分野（福祉、教育、商工業等）への芸術文化に関する取組の周知                                | ●分野別のアプローチ方法の検討                                   |                      |         |
| （資源活用）         | (1) 芸術文化に関わる多様な資源を活かす仕組みづくり     | ① 芸術文化活動を行う個人・団体のネットワークの構築   | ・芸術文化情報サイトを核とした個人・団体のネットワークを活かす仕組みづくり                  | —                        | —                            | ヒアリング・情報収集準備（一部情報収集）                                               | 未実施                                             | 個人・団体の情報収集                           | 個人・団体の情報収集                                                     | 個人・団体の情報収集<br>サイト登録アーティストと市内の活動団体をつなぐ仕組みづくり                   | ●サイト登録アーティストへのアンケートの実施                            |                      |         |
|                |                                 | ② 地域の特性を活かしたイベントの実施支援        | ・「大野城心のふるさと館」を活用したイベントの実施支援                            | —                        | —                            | ふるさと館つながる事業の活用方法の検討<br>ヒアリング・情報収集準備（一部情報収集）                        | 未実施                                             | ふるさと館を活用した事業の実施                      | ふるさと館を活用した事業の実施                                                | ●「大野城心のふるさと館」を活用したイベントの実施支援                                   |                                                   |                      |         |
|                |                                 | ③ 芸術文化の活動場所の把握               | ・芸術文化活動ができる新たな施設、空きスペースの調査と情報の可視化                      | —                        | —                            | —                                                                  | 未実施                                             | 活動場所の情報収集                            | 活動場所の情報収集とサイトへの掲載                                              | 活動場所の収集とサイトへの掲載                                               | ●高架下複合施設の掲載                                       |                      |         |

セル: J8  
コメント 後藤 広政:  
協議、検証をおこなっえ終わりではなく、方針まで検討する。

セル: K8  
コメント 後藤 広政:  
そもそも、研修会実施するのか、増設するのか不透明であるため未定としていたが、ここだけみていであること、作成研修や増設をしないとなったら、何もしないということか、と思われるので、どのみち何か検討して実施しますよというのをみせていいのでは。

セル: G10  
コメント 後藤 広政:  
・ここでは、まどかフェスティバル(オンライン開催)での活用を行い、どれだけ事業開始にSNSの効果があつたかというより、芸術文化の魅力を伝える上でSNSの効果がどれだけあつたかを検証するもの。まどかフェスティバル全体というよりは、まどか文化祭(芸術文化)に特化して、記載。  
・イメージとして、市民リポーター制度(令和4年度以降)を考えており、まどかフェスティバルで事務局が市民リポーター制度のはしりに実施する。  
・今後、市民リポーター制度をどのように広めていくかを検討する。  
・すでにまどかびあ等で魅力を伝えるうえでSNS等を活用しているのであれば、ヒヤリングを行うことも可能。

セル: J12  
コメント 後藤 広政:  
「まなブック」と記載していたが、まなぶっくは生涯学習についての情報。すこし芸術文化に特化した形で書き方を変えている。

セル: J13  
コメント 後藤 広政:  
・文化連盟に特化せず、他団体も含めて調査  
・すでにまどかびあ、にぎ協で情報をもっているのであれば、令和3年度にききとりも行う。

セル: J14  
コメント 後藤 広政:  
【文化連盟への支援】  
・文化連盟紹介ページでSNSの活用、リンクなど強化している。  
  
【現状把握方法の検討】  
・文化連盟に特化せず、他団体も含めて調査  
・すでにまどかびあ、にぎ協で情報をもっているのであれば、令和3年度にききとりも行う。

セル: J17  
コメント 後藤 広政:  
・今年度サイトの仕様を検討する際にコンテンツの整理も行うので、その際にサイト内でのよろず相談の必要性も検討する。

セル: G19  
コメント 後藤 広政:  
・アクセシビリティの調査研究での先進事例調査を活用する予定だったが、そもそも、アクセシビリティの先進事例調査は他分野との活用事例調査であり、あらゆる人々が参加できる活用事例の調査ではない。  
・既存事業の調査はおこなったが、大きなイベント、事業ばかりであり、もっと身近な事業も本当はあるのではないか。それについて、調査をかけてみるというのはどうか。そして、情報を公開することで、あらゆる人々の参画につなげてはどうか。

セル: K20  
コメント 廣野 実貴子:  
アートマネジメント研究で提案できないか。  
ファンリリーダーが活用できる場として分野のワークショップを想定